

今日の移動時のお昼は本当に暑かった。コンクリート跳ね返しの暑さは凄かったです。

山梨・大月で今年国内最高の気温 37.4 度を観測された。方や九州で複数河川に氾濫発生情報、ダムで緊急放流など、福岡、大分、佐賀県等の豪雨の様子、心配です。

令和 2 年 7 月 6 日、大分の記録的集中豪雨で元職場の同僚がご家族を亡くされた。「老後にのんびりしようと思住して住んだ家が無残に壊される」「あの時以上の豪雨が来ないと思ったら大間違いで、多くの人には最悪のことも考えて行動してほしいし、私のような経験は誰もしてほしい」と語っていたとメールを頂いたばかりです。環境問題が繰り返されるよう、自然の怖さがいろんな形で伝わってきます。ただただ心よりお見舞い申し上げます。(菅野)

目次

- 1 第 4 回飲酒ガイドライン作成検討会（資料）
- 2 今月の現場から（保健師コラムリレー）
～治療と仕事の両立支援のための取り組み～
- 3 令和 4 年度「過労死等の労災補償状況」を公表、PPT スライドを添付します。
- 4 関連情報

1 第 4 回飲酒ガイドライン作成検討会（資料）

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=d5DJlCAeKbJZ_ETIY

第 4 回検討会（令和 5 年 7 月 5 日開催）・ガイドライン記載案について意見交換

⇒以降の検討会（令和 5 年秋以降予定）

パブリックコメント等を踏まえ、ガイドライン案の取りまとめ

⇒厚生労働省において飲酒ガイドラインを策定

議事次第

<https://www.mhlw.go.jp/content/12205250/001025364.pdf>

【資料 1】飲酒ガイドライン作成検討会の進め方について（案）

<https://www.mhlw.go.jp/content/12205250/001117296.pdf>

【資料 2】飲酒ガイドラインに記載する内容（たたき台）

<https://www.mhlw.go.jp/content/12205250/001117297.pdf>

【資料 3】飲酒ガイドラインの内容に関する国民への周知について

<https://www.mhlw.go.jp/content/12205250/001117298.pdf>

【参考資料 1】「飲酒ガイドライン作成検討会」開催要綱

<https://www.mhlw.go.jp/content/12205250/001117299.pdf>

【参考資料 2】第 2 期アルコール健康障害対策基本計画（抜粋）

<https://www.mhlw.go.jp/content/12205250/001117300.pdf>

○国民への周知～飲酒ガイドラインのねらい ⇒ 国民一人ひとりがアルコールに関連する問題への関心と理解を深め、自ら予防に必要な注意を払うことができるよう、飲酒に伴

うリスク等についてエビデンスを踏まえながら提示し、飲酒に関する行動変容を促す。

(記載例)



2 今月の現場から（保健師コラムリレー）

～治療と仕事の両立支援のための取組み～

第一生命保険株式会社 人事部 健康増進室 中村千景

<https://www.ryoritsushien.johas.go.jp/staff.html>

癌など病気を持ちながらも一定の配慮を行うことにより、就労可能な人が増えてきています。厚生労働省より公表されている「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」に沿って、各企業での取組みが進んでいます。

弊社でも病気を持つ社員と職場の上司が円滑に対応を進めることができるよう「治療と仕事の両立支援マニュアル」を作成し、必要な時に閲覧できるよう社内システムに掲載するとともに、社内研修にて周知し、体制づくりを進めてきました。

保健師が対応する相談の中では、休職制度や給与補償の不安に加え、この先どのタイミングで上司に相談するのがよいのか、まだ病気が確定していない段階から悩まれていました。また「同じ病気で治療と仕事を両立している社員の体験談を聞きたい」、「治療のためにキャリアを諦めたことで仕事のモチベーションが上がらない」などの声も伺っています。

相談者は、精密検査の段階から、そして治療を継続しながら仕事を続ける中でも、ご自身の治療の状況に応じて悩みや苦悩も変化し、様々な思い、葛藤を抱えています。

弊社では、長期休業から復職される場合は、復職支援制度によって産業医との関わりが始まりますが、長期休業に至らなかった場合には、本人もしくは職場からの支援の申出がない限り、産業保健スタッフとしても支援できないのが実情です。

より良い支援のためには、継続的な社員への意識啓発とともに、日々の安全衛生活動の中で機会をとらえ、社員や職場との関係づくりを行い、社員と職場の双方から産業保健スタッフへアクセスしやすい環境づくりを整えていくことが大切と感じています。

※続きは上記アドレスにアクセスしてください。事業場の産業保健スタッフ等の方々こそ、両立支援への周知や働きかけが重要な役割ですね。所属内で「治療と仕事の両立支援ワーキンググループ」の立ち上げは素晴らしい。（菅野）

- 3 令和4年度「過労死等の労災補償状況」を公表、PPTスライドを添付します。
PPTを作成いたしましたので、ご参照のほど、必要であればご活用ください。(菅野)

4 関連情報

△▼厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

- (1) 2022年国民生活基礎調査の概況

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=6Q5Q09i9WHEQw997Y>

○報道発表資料 [138KB]

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/dl/13.pdf>

2022(令和4)年は、13回目の大規模な調査の実施年に当たり、6月に世帯票・健康票は約30万世帯、介護票は約7千人、7月に所得票・貯蓄票は約3万世帯を対象として調査し、世帯票・健康票は約20万4千世帯、介護票は約5千人、所得票・貯蓄票は約1万9千世帯を集計しました。

<一部抜粋>

1 世帯の状況

- ・単独世帯は1785万2千世帯、全世帯32.9%と世帯数、割合とも過去最高(3頁表1)
- ・高齢者世帯は1693万1千世帯、全世帯の31.2%と世帯数、割合とも過去最高(3頁表1)
1) 注：高齢者世帯は、65歳以上の人のみか、65歳以上の人と18歳未満の未婚の人で構成する世帯
- ・児童のいる世帯は991万7千世帯、全世帯の18.3%と世帯数、割合とも過去最少(7頁表5)

2 所得等の状況

- 3 健康の状況・がん検診の受診率は概ね横ばい(21頁図22)

過去1年間 胃がん 男 47.5% 女 36.5%

肺がん 男 53.2% 女 46.4%

大腸がん 男 49.1% 女 42.8%

過去2年間 胃がん 男 53.7% 女 43.5%

子宮がん(子宮頸がん) 女 43.6% 乳がん 女 47.4%

4 介護の状況

○概況全体版 [1,407KB]

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/dl/14.pdf>

○詳細な統計

国民生活基礎調査の詳細な統計はこちらから(政府統計の総合窓口(e-Stat))

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=normal&toukei=00450061&metadata=1&data=1>

(2) 第38回がん検診のあり方に関する検討会（議事録）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=Y4TYe2n19oidrFXxY>

(3) 新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料を更新しました

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=A-SxovIS2FtaDXuRY>

(4) 「親子で学ぼう！体験しよう！“食品安全”」をテーマとした取り組み について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=d5DIHtdz0x-M1wvIY>

◇ 労働安全衛生総合研究所メルマガ から

(1) YouTube JNIOASH-Channel に J-WISE（ジェーワイズ：J-NIOSH Worker's Interval Strength & balance Exercise）実践動画を公開しました。

働く人の筋力やバランス能力の維持・向上を目的に開発したエクササイズ動画です。体力の低い方でも取り組める内容となっています。心肺持久力を効率良く維持・向上させるために開発した J-HIAT 実践動画と共にご活用ください。

↓↓↓ 以下のリンク先で J-WISE 実践動画をご覧ください。 ↓↓↓

<https://www.youtube.com/watch?v=Bt1sH1iMLzk>

↓↓↓ 以下のリンク先で J-HIAT 実践動画もご覧ください。 ↓↓↓

<https://youtu.be/erTYGpIRIYY>

(2) 【174-3】 労災疾病等医学研究普及サイトのご案内

「アスベスト」について

近年、アスベスト（石綿）関連疾患の労災請求件数は年間 1,000～1,300 件ほどとなっていますが、その中には他の疾患との鑑別が困難なものや診断方法が特殊なものがあり、申請から処分決定までに時間を要する場合も少なくありません。

こうした診断方法が難しいアスベスト関連疾患について、明確かつ簡易な診断方法・指標を確立し、より適切な治療・予防に役立てることを目的として、当機構では長年アスベスト関連疾患の診断等についての研究を行っています。（略）

○平成 29 年度までのアスベスト研究については、下記の「労災疾病等医学研究普及サイト」からご覧いただけます。

<https://www.research.johas.go.jp/asbesto2015/>

○平成 30 年度からのアスベスト研究の詳細については、下記の「労災疾病等医学研究普及サイト」をご覧ください。

<https://www.research.johas.go.jp/asbesto2018/>

◇ J I L P T から

(1) 精神障害の労災認定基準、カスタマーハラスメント等を追加／厚労省検討会報告書

厚生労働省は4日、「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会」の報告書を公表した。業務による心理的負荷の大きさに関する評価表に「顧客や取引先、施設利用者等から著しい迷惑行為を受けた」（いわゆるカスタマーハラスメント）、「感染症等の病気や事故の危険性が高い業務に従事した」を類型として追加した。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33933.html

（報告書）※業務による心理的負荷評価表は41頁以降参照

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201000/001117056.pdf>

(2) 民事上の個別労働紛争相談内容、「いじめ・嫌がらせ」が引き続き最多／厚労省

厚生労働省は6月30日、2022年度「個別労働紛争解決制度の施行状況」を公表した。個別労働関係紛争解決促進法による総合労働相談件数は124万8,368件（前年度比0.5%増）で、15年連続の100万件超。うち、民事上の個別労働紛争相談件数は27万2,185件（同4.2%減）、相談内容は「いじめ・嫌がらせ」が6万9,932件（同18.7%減）で、2012年度から11年連続で最多、次いで、「自己都合退職」4万2,694件（同5.4%増）、「解雇」3万1,872件（同4.0%減）など。なお、改正労働施策総合推進法の全面施行により、同法上のパワハラ相談件数は、民事上の相談件数「いじめ・嫌がらせ」とは別に集計されている。

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/newpage_00132.html

（報道発表資料）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11909000/001114181.pdf>

(3) 「労働基準関係法令違反に係る公表事案」を公表／厚労省

厚生労働省は6月30日、「労働基準関係法令違反に係る公表事案」を公表した。2022年6月1日から2023年5月31日の間に、都道府県労働局が労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法、労働安全衛生規則等の労働基準関係法令違反の疑いで送検し公表した内容を集約したもの。

<https://www.mhlw.go.jp/content/001101046.pdf>

（長時間労働削減に向けた取組）

<https://www.mhlw.go.jp/kinkyu/151106.html>

(4) 男性育休、取得の実態と中長期の取得効果など分析／民間調査

パーソル総合研究所は6月27日、男性育休に関する定量調査結果を発表した。男性育休の取得率は企業間格差が大きく、取得率50%以上の企業が約2割ある一方で、5%未満の企業が約半数であること、取得期間は「1カ月未満」が約6割を占め、数日の休暇レベルにとどまっていることなどが明らかになった。また、中長期（1カ月以上）の取得者がいる企業は、短期（1カ月未満）の取得者のみの企業よりも「従業員の自主的な行動促進」

「業務の見直しや属人化解消」「従業員の視野拡大」の効果を実感している割合が 10 ポイント以上高い。

<https://rc.persol-group.co.jp/news/202306271000.html>

(5) 「『知る』ことから始める、初めての障害者雇用セミナー」／東京商工会議所

東京商工会議所では、障害者雇用エントリー講座「『知る』ことから始める、初めての障害者雇用セミナー」を動画配信で開催する。7月26日（水）から8月31日（木）まで視聴可能。セミナーでは、これまで障害者の雇用実績がない、課題があり障害者雇用に踏み切れていない企業等を対象として、障害者雇用の基礎知識を体系的に解説するとともに、障害者雇用を活用できる公的支援策を紹介する。今後の法定雇用率引上げへの対応を考慮した内容。現在、障害者雇用している企業も受講可。参加無料。ホームページより申し込む。

https://myevent.tokyo-cci.or.jp/detail.php?event_kanri_id=202106

◇ 協会けんぽ東京支部メールマガジン 協会けんぽ News から

└...┐

～健康企業宣言をはじめてみませんか～

健康企業宣言とは、事業所全体で健康づくりに取り組み、健康優良企業を目指して宣言することです。宣言内容に取り組むことで、生産性の向上や労働災害のリスクを減少させ、企業イメージの向上にもつながります。協会けんぽは健康企業宣言をした事業所へのサポートを行っています。この機会に健康企業宣言をして、従業員の健康を意識されてみてはいかがでしょうか。

▼健康企業宣言について詳しくはこちら

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/tokyo/cat070/collabo271210-1/>

▼協会けんぽのサポートについて詳しくはこちら

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/tokyo/cat070/collabo20200129500/>

健康企業宣言は全国健康保険協会の登録商標です。

◇ ◆【From_M】 から 情報提供有難うございます

◆生活の工夫カード 2023 改訂版 | 国立がん研究センター 中央病院

https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/nursing/division/support_card/

<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/nursing/power/010/all.pdf>

「生活の工夫カード」は、当院の外来に通院中の患者さんを対象に行った「生活上の不便さ調査」のアンケート結果を参考に作成しました。この調査で、がんという病気そのものから生じる不快な症状と、がんの治療（手術・抗がん剤治療・放射線治療など）の影響などから、患者さん方が生活上のさまざまな場面で困ったり、不便さを感じたりしていることがわかりました。それと同時に、患者さんなりにたくさんの工夫もされていること、「これは名案！」と思える対策を取っていることもわかりました。

◆第14次労働災害防止計画について | 厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000197308.html>

○計画の概要 PDF [5.8MB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/001116306.pdf>

○パンフレット PDF [7.2MB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/001116255.pdf>

◆産業医学振興財団 産業医学ジャーナル 2023年46巻4号 特集一般健康診断の実務

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ohpfjrnl/46/4/_contents/-char/ja

○目次

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ohpfjrnl/46/4/46_1/_pdf/-char/ja

○特集 一般健康診断の実務 健康診断の項目をめぐって 岡村 智教

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ohpfjrnl/46/4/46_3/_pdf/-char/ja

○一般健康診断と就業上の配慮・措置 宮田 依未子, 内田 和彦

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ohpfjrnl/46/4/46_10/_pdf/-char/ja

○嘱託産業医活動における健康診断の活用の仕方と課題 得津 明美, 吉積 宏治

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ohpfjrnl/46/4/46_15/_pdf/-char/ja

○健康診断結果の管理と活用 永野 千景, 堀江 正知

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ohpfjrnl/46/4/46_20/_pdf/-char/ja

○健診情報の活用に向けた「健診標準フォーマット」の普及推進 亀澤 典子

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ohpfjrnl/46/4/46_25/_pdf/-char/ja

◆人事院 各府省におけるハラスメント相談員の体制整備に関する調査結果について

<https://www.jinji.go.jp/kisya/2307/soudaninR4gaiyou.html>

https://www.jinji.go.jp/kisya/2307/soudanin_besshi.pdf

◆令和4年度における苦情相談の状況

<https://www.jinji.go.jp/kisya/2307/soudan01.html>

図表は [こちら](#) (PDF形式/154KB)

<http://www.jinji.go.jp/kisya/2307/R4zuhyou.pdf>

小野田 富貴子 (両立支援担当)

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 (メンタルヘルス担当)

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子 (メンタルヘルス担当)

yukikan28@gmail.com